

厚生文教委員会行政視察報告書（令和 6年 5月 9日）

日 時：令和 6年 5月 9日（木）
視 察 先：東京都日野市
視察事項：『 部活動の地域移行の取組について 』
内 容 東京都の島しょ部を除く地域のほぼ中央に位置する日野市。市内最大の大企業である国内トラック・バス製造業界最大手の日野自動車の企業城下町でもあります。 令和3年に三沢中学校1校を拠点校として始まった地域クラブ活動の取組は、令和5年には市内中学校全8校に拡大し、学校との連携体制が確立しました。令和5年度から本格始動した、日野市部活動改革プロジェクト「日野型地域文化・スポーツ活動「ひのスポ！ひのカル！」」は、子供たちが文化・スポーツ活動に親しむことのできる持続可能な環境を確保するためにつくられた子供たちの「新しい文化・スポーツの選択肢」のことで、市内中学校を拠点校として、日野市にゆかりのある企業、大学、文化・スポーツ団体などと連携して様々な体験活動が提供されています。 令和6年度も土日のいずれかで実施されている状況や受益者負担、課題の整理及び検証などについて調査しました。
視察を終えて 部活動改革を進める先進地区として全国から注目をされている日野市。 少子化による部員数減で練習もままならない、やりたい部活動が在籍校にない、指導できる教員がいない等、部活動が抱える様々な問題を解決していくために、地域（産官学民）で行う子供たちのための新しい文化・スポーツの選択肢が「ひのスポ！ ひのカル！」の目標と目的とのことでした。 学校単位ではなく地域単位で、地元企業や地域の団体と連携し、市内の様々な施設を活用して、普段の学校部活動以外のスポーツや文化活動に参加する機会の創出や、学校部活動の競技をレベルアップさせる場となっていることなど、地域の資源を最大限に活用した、日野市独自の取組を学ぶことができました。 令和5年度秋以降から、保険料等実費相当分を徴収するようになったとのことでしたが、生活困窮家庭からは徴収しないとのことでした。また、民間企業等からの外部資金の在り方・可能性についても、日野市地域文化スポーツ連携協議会の中で検討していることなど、とても学ぶことが多い視察でしたが、当市に当てはめて考えると、なかなか難しい内容であったと感じました。

※視察の資料等については、議会事務局に保管してあります。